

令和6年度 松戸市立第二中学校 学校経営グランドデザイン

＜学校教育目標＞
確かな学力を備えた 心豊かな 活力ある生徒の育成

＜生徒目標＞
誰もが安心して、充実した学校生活をめざす中学生

自ら学び考える生徒
ア 学び方を身につけて進んで学習する生徒
イ 毎日学習し、基礎学力を身につけた生徒
ウ 課題を見つけ、自ら考えて解決する生徒

【重点目標1】
学力向上（学習意欲の向上）をめざして
「主体的・対話的で深い学び」の授業研修

思いやりを行動で示せる生徒
ア 仲間を大切にし、相手を理解する生徒
イ 自他の向上をめざし奉仕する生徒
ウ 公共心を持つ生徒

【重点目標2】
いじめ解消率 100%、長欠・不登校生徒の減少
「挨拶・清掃・委員会活動」の充実

心身健康で行動力と責任感のある生徒
ア 自主的に心身を鍛える生徒
イ 全力を尽くし、課題から逃げない生徒
ウ 価値観を高め、責任のとれる生徒

【重点目標3】
危機管理を含む学校課題への積極的な対応

【重点目標4】 地域・保護者から信頼される職務実践（丁寧・誠実な職務実践、丁寧な電話対応、保護者対応、来客対応、業者対応）

- ・確かな学力の定着
- ・家庭学習習慣の確立と内容の充実（予習型・e ライブラリの活用）
- ・個々に寄り添う TT 授業実践の充実
- ・「SDGs」課題解決学習の充実
- ・リモート授業の実践等、学習機会の確保

- 研修計画の工夫
例「めあて」明示の統一
「話し合い」のある授業
- 相互授業参観の活性化
- 校内授業研究会
- 市内派遣研修の活用
- 生徒授業評価の実施
- 生徒指導の機能を生かした授業づくり
(1) 自己決定
(2) 自己存在感
(3) 共感的な人間関係

- ・特別支援教育コーディネーターを軸とした支援体制の連携強化
- ・支援教室オアシス・ステップ活用の充実
- ・「考え議論する」道徳教育の充実
- ・「特別支援学級」との連携体制の構築
- ・生徒会・委員会活動の充実

- 生徒指導部会・教育相談部会を隔週で実施し、情報の共有
- いじめアンケート(毎月)・Q-U調査(年2回)結果の早期対応
- 特別な教科「道徳」年間35時
- 「特別支援学級」開設とインクルーシブル教育システムの構築
- 生徒会・委員会活動の活性化
(1) 生徒会と各委員会の連携
(2) 委員会活動を生かした学校文化のさらなる構築
(3) リーダーの育成

- ・「生き甲斐」のある学校づくり
- ・生徒と地域との共生意識の構築
- ・学校教育活動の情報発信
- ・ノー部活デー、ペーパーレス化などの「働き方改革」の推進

- 地域の特性を活かした生徒活動の充実
(例) 地域行事への参加、老人ホーム訪問など
- 長欠生徒への支援及び保護者・SC及び外部機関との連携
- HP,学校だよりの地域発信
- 生徒にとっても教員にとっても、行き甲斐のある学校
(1) ノー部活デーの設置
(2) ペーパーレス化
(3) 部活動地域移行への対策

【経営方針】

- 1 「チーム学校」の確立。学習支援、生徒指導、地域・保護者等への対応を組織で行う。
- 2 「自分の命は自分で守る」防災意識向上を目指すKYT 授業を実践し安全教育の充実を図る。
- 3 学校生活のあらゆる場面で「自他の命を大切に」人権尊重に心がける。
- 4 学校文化の確立及び学校秩序維持には明確かつ厳しい指導をし、生徒個々には慈愛のある対応をする。
- 5 研修に努め、わかりやすい授業、魅力ある授業をめざす。(学校内外の授業参観・若手育成プログラムの実施)
- 6 心身共に健康で安全な生活を送る能力を養う。
- 7 望ましい勤労観と職業観と主体的な進路選択ができる能力を養う。
- 8 全ての職員が経営に参画する意識を持ち、互いに報連相を的確に行う。
- 9 丁寧・誠実を旨として、生徒・保護者への関わりを大切に。
- 10 先手必勝（常に生徒や保護者の心の動きを予測して対応）
- 11 働き方改革の推進。職員の意識改革と業務・行事の一層の見直し、会議等の簡素化を図る

● HP・学校だよりを活用した積極的な情報発信